

中心市街地の魅力と賑わいづくり

宇都宮市 特定非営利活動法人宇都宮まちづくり推進機構
箕輪泰典様 鷹箸敬久様

7班

コミュニティデザイン学科
建築都市デザイン学科
社会基盤デザイン学科
グループ指導教員

加藤柚穂 佐藤汰樹
藤谷明博 堀部玲 永田正弥
飯山諒 田崎康平 松本葵衣
藤倉修一 Thay Visal



01 地域の背景

宇都宮市の中心市街地は、JR宇都宮駅と東武宇都宮駅に挟まれた場所に位置しており、近年商業施設の郊外化などをはじめとした経済活動の変化により、中心市街地の活力の低下が課題となっている。

中心市街地の代表的な場所であるオリオン通りや釜川では、すでに活性化のため、様々な取り組みが行われている。そのため我々は、宇都宮市が「餃子のまち」、「自転車のまち」であることに着目し、発展途上である「餃子通り」と、新しい交通手段である「LUUP」の2点から中心市街地の賑わいの創出を目指す。

03 方法

▼ 1st cycle

現地調査で宇都宮中心市街地を散策し、餃子通りとLUUPに着目した。自分たちで調べたのちに、交通政策課の方へLUUPとシェアサイクルについて伺った。

▼ 2nd cycle

宇都宮餃子会・コンベンション協会・観光交流課の方との1回目の意見交換会を行い、中心市街地の現状と今後の展望について話した。また、餃子通りで街頭調査を行い、観光客に直接意見を聞いた。その後、餃子通りに賑わいを作るために必要な提案を考えることにした。

▼ 3rd cycle

宇都宮餃子会・コンベンション協会・観光交流課職員の方との2回目の意見交換会を行い、我々の提案について意見をいただいた。その後修正し、最終提案を考えた。

05 最終提案

▼提案1 駐車場マップ

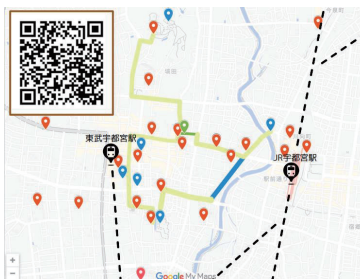
- 餃子通り周辺は道が細く、コインパーキングや駐車場が点在している
- 車やバイクで訪れた観光客が迷うことがないよう、**駐車場や駐輪場の場所を記したマップ**を制作
- 餃子通りの入り口や餃子店に設置し、駐車場の場所を周知する



餃子通り周辺の駐車場を示した地図

▼提案2 周遊マップ

- 待ち時間に観光客が遠くまで出歩くことは少ない
- 餃子通りの近くに焦点を当ててマップを制作
- 餃子通りを起点とし、中心市街地を周遊する



餃子通りを起点とした周遊マップ

▼提案3 待ち時間活用システム

- 観光客の方が外出先でも店舗の状況がわかるよう、
① 順番呼び出し機能
② カメラと連携した、WEB上での順番確認サービス
⇒外出先にて、いつでも行列状況を確認できるようにする

02 目的

- ① LUUPという新しい交通手段を利用し、地域内を周遊してくれるようなアイデアを練る
- ② 餃子通りが今よりもさらに魅力的になるような提案をする
- ③ 上記の2つより、中心市街地に新しい賑わいを創出する

04 結果

▼餃子通りについての調査結果

- ・餃子通りは大規模な開発ができない
- ・餃子だけを食べて帰ってしまう人が多い
⇒観光客に餃子通り以外の観光地も訪れて欲しい
- ・訪れる人は20代の若者
- ・餃子通りは2018年頃から呼称され始めた

▼餃子通りでのインタビュー結果

- ・駐車場やバイクの駐輪場へアクセスしづらい
- ・回答者37名のうち31名が30分以上でも待つことができると回答した。このうち1時間以上待てると回答した人は14名だった。
- ・餃子を食べたのちに中心市街地内に用事がある人は、4人。栃木県内に用事がある人は11人だった
⇒中心市街地内を周遊する人はあまりいない

▼LUUPについての調査結果

- ・類似サービスとして、「レンタサイクル」がある
- ・短時間、短距離の運用に向いている

▼餃子通り関係者との交流会から頂いた意見

- ・待ち時間の有効活用について、現場も同じ考えである
- ・**バイクの駐車場の必要性は確かにあると感じた**
- ・待ち時間システムの導入について、実際に行ったところ、一定距離からお客が離れづらくなる傾向があった
⇒お店の状況がわかるWebカメラがあると良い
- ・駐車場について、残りの駐車台数がわかると良い
- ・コンベンション協会では、体験型のイベントが成功した

06 今後の展望

▼本年度の活動では、餃子通りの魅力を伸ばすための提案をすることが出来た。来年度以降は今回の提案を実際の店舗等で導入していただき、その効果の検証と更なる改善点の洗い出しを行いたいと考えている。

▼長期的な視点として、今回行ったような活動と同様のことを、他の中心市街地のエリアで行うことで、複数の賑わいの場を創出することができ、最終的に、宇都宮中心市街地の魅力と賑わいづくりを達成できるだろう。

